



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



Vol.32
2022年10月号

News
Letter

おおきに健康

歯とお口から

大阪大学歯学部附属病院 広報誌 <https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/>



病院長 林 美加子

今年度も後半にさしかかりました。7月、8月と急拡大した新型コロナ感染症第7波は、9月に入っても完全には収束しておらず、この状況のまま、次の波に備えるべきとの見解も示されています。歯学部附属病院では、直近の感染状況を正確に分析し、職員に感染者や濃厚接触者が出た場合の基準を明確に定め、順調に業務を継続しています。2020年の感染症発生以来、外来、入院ともに通常どおりの業務を継続してきましたことは、地域の中核病院としての責務を果たしてきたものと、職員一同、誇りに思うとともに、感染対策にご協力いただいている皆様に、心より感謝申し上げます。

これから冬に向かって、コロナの次の波とインフルエンザにも注意していかなければなりません。職員全員が「口の最後の砦病院」としての使命をしっかりと自覚し、安心安全の口腔医療を堅持して参る決意です。患者の皆様におかれましては、しばらくご苦勞をおかけしますが、手洗いや院内でのマスク着用など、感染対策にご協力をお願い申し上げます。

内面

- 特集 1.
歯科医師法の改正
— スチューデント デンティストの法的位置付けとは —
- 特集 2.
看護をつなぎ、地域をつなぎ、
信頼される看護をめざして
- 第19回市民フォーラム
「よく噛み、よく食べ、よく眠ろう」
開催について

お口の相談コーナー
お口のマメ知識

裏面

- 2022年7～9月の統計情報
- 病院概要



■ 歯学部附属病院としての使命

病院1階のロビーにも掲げられているとおり、当院は大阪大学歯学部に附属する医療機関であり、患者さんの歯科診療を行うと同時に、教育並びに研究機関として歯科医学教育と臨床研究を行うことを使命としています。この教育機関としての役割を果たすため、当院ではスチューデント デンティストとして認定された歯学部学生が認定証(図1)を着用し、指導医の指導・監督のもと、診療行為を行っています。学生はこの臨床実習を経験することによって座学や模型での実習では得られない生の歯科医療を体験し、診療に関する技術だけでなく患者さんと接するのに必要な態度を身につけ、次の世代を担う歯科医師となることを目指して成長を続けています。

■ 診療参加型臨床実習と違法性の阻却

さて、歯科医師法17条に「歯科医師でなければ、歯科医業をなしてはならない。」と記載されているとおり、歯科医師でない者が歯科診療を行うことは禁じられています。では、歯科医師でない歯学部学生が臨床実習として診療行為を行うことは法律違反にならないのでしょうか。この疑問に対しては、違法性の阻却という考えの下、歯学部学生の臨床実習が容認されてきました。違法性の阻却とは、刑法35条の「法令または正当な業務による行為は罰しない」に基づくもので、歯学部学生の臨床実習では、以下の3つの条件が整うことで正当な業務による行為であると認められています。①学生が臨床実習を行う上で十分な知識および

技能、態度を備えていること、②臨床実習は大学病院にて指導医の指導の下、認められた診療行為にて行われること、③診療を受ける患者さんの同意が得られていること。そして、上述①の条件を満たすために、全国の29歯科大学・歯学部が協力して臨床実習前に共用試験を実施し、それに合格した学生に対してスチューデント デンティストという資格を付与してきました。

■ スチューデント デンティストの法的位置付け

令和2年5月28日に歯科医師法が改正され、これまでは29大学が独自の基準で行ってきた共用試験が令和6年度から歯科医師国家試験と同様に公的化されることが決まりました。それに伴い、これまで独自に認定してきたいわゆるスチューデント デンティストを法的に位置付けることが可能となり、違法性の阻却によることなく、臨床実習において歯科医業を行うに足りる資格として認められることとなります。その結果、臨床実習がさらに充実し、手技などを体験する機会の増加による学修成果の向上が期待されるとともに、将来的には大学病院以外の医療機関でも臨床実習が行われるようになることが期待されています。

当院ではこのような時代の流れに即応し、患者さん中心の安全な医療の提供とともに、将来の口腔医療を担う良質な歯科医師の育成に引き続き全力を注いで参ります。診療参加型臨床実習の実施およびスチューデント デンティストによる診療行為に対して、多くの患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

口腔総合診療部 部長 長島 正

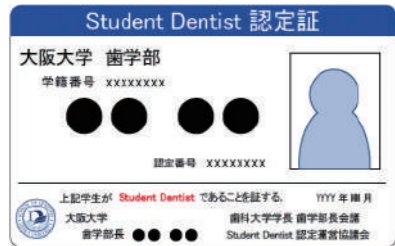


図1 スチューデント デンティスト認定証 スチューデント デンティストは本認定証を着用し、附属病院内で臨床実習に従事しています。



図2 臨床実習中の歯学部学生

看護部長 熊谷 由加里

看護師は、病棟をはじめ手術室、外来部門に配置され、患者さんがその人らしく生活するために、QOL(クオリティオブライフ)の維持、向上に努めています。具体的には、看護師と歯科衛生士が協働して行う口腔がん患者さんへの口腔ケアをはじめ、歯科医師、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養師等が連携し、口腔管理を行うことで、口腔機能の早期回復につなげています。

また、当院は口唇裂・口蓋裂の治療において国内トップレベルであり、全人的な一貫治療を提供し、地域をはじめ海外での医療・看護支援へと展開しています。当院看護師が、院内外において独自の哺乳技術(熊谷メソッド)を提供することで、看護をつなげてきました。



30施設の看護師達に当院独自の哺乳技術を教育

口唇裂・口蓋裂児は、妊娠初期に形づくられる唇と上あごが繋がらないまま、500人に一人の割合で産まれてきます。その原因は解明されていません。

熊谷メソッドは、YouTubeに日本語版と英語版の合計6本が公開されています。口唇裂・口蓋裂の赤ちゃんの哺乳に困難感がある産科医療機関や、ミルクが飲めないことで命が繋がらない途上国の子供たちの命をつなぐために、国内外に向けて情報を発信しています。われわれは、歯科看護のスペシャリストとして、看護の力を発揮して、看護をつなぎ、地域をつなぎ、信頼される看護をめざしていきます。

看護部チャンネルを開設! 当院独自の哺乳技術【熊谷メソッド】を紹介



Advertisement for a video titled '動画で学べる 口唇裂・口蓋裂の子どもの哺乳' (Learn with video: Breastfeeding of children with cleft lip/palate). It includes a QR code and text about the Kumagai method.

第19回市民フォーラム「よく噛み、よく食べ、よく眠ろう」歯科医が健康のヒミツ教えます

日時: 令和4年11月26日(土) 13:00~16:00
場所: 千里ライフサイエンスセンター 5F 山村雄一記念ライフホール
申し込み方法: はがき・FAXの方は以下を明記
①氏名②住所③性別④年齢⑤連絡先
大阪大学歯学研究科総務課庶務係「第19回市民フォーラム事務局」
〒565-0871 吹田市山田丘1-8 FAX 06-6879-2832

ウェブサイトで申し込みの方はこちらから

https://www.dent.osaka-u.ac.jp/features/forum

申し込み締め切り: 11月15日(火)



「栄養補助食品のすすめ」

お口の相談コーナー



「低栄養」という言葉はご存知でしょうか? 低栄養とは、身体を動かすために必要なエネルギーやたんぱく質が不足した状態です。低栄養になると、体重が減るだけでなく、抵抗力が弱る、筋力が低下する、骨が折れやすくなる、傷の治りが悪くなるといった日常生活への支障を引き起こしてしまいます。日本は長寿大国であり、「飽食の時代」となつてずいぶん久しいといわれています。しかし、近年、高齢者の間で低栄養が増えており、医療や介護の世界で注目され始めました。

「食欲がない」、「食べたらずぐにお腹いっぱいになってしまう」といった

加齢や全身疾患など様々な要因から、十分な食事が摂れず低栄養に陥っている高齢の方の声を耳にします。そんなお困りの方におすすめしたいものが、『栄養補助食品』です。栄養補助食品は、少量でエネルギー、たんぱく質、ビタミン、ミネラルなどがバランスよく摂取できる食品です。例えば、紙パック1本(125ml)の飲むタイプの栄養補助食品と、ご飯約1杯分に相当する200kcalのエネルギーが摂取できるものがあります。栄養補助食品は色々な種類があり、食べるタイプや飲むタイプ、粉末や錠剤など形態も様々で、味のバリエーションも豊富です。近頃は街中のドラッグストアやスーパーなどでも市販されています。

顎口腔機能治療部 濱田理愛



で、外出先でも手軽に調達できます。当院顎口腔機能治療部では、患者様それぞれのお口や飲み込みの状態、栄養状態に適した形態や種類をアドバイスしております。まずは、お食事でお困りのことがあれば、ぜひ当部にご相談ください。

お口のマメ知識



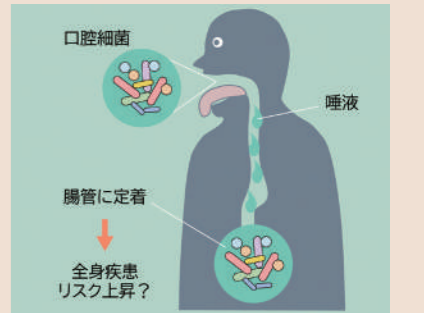
「健口生活のススめー口腔の清潔保持が心身の健康維持に」

予防歯科 坂中 哲人

インド伝統医学として知られるアーユルヴェーダでは、病気になりにくい健康習慣の一つとして起床時の舌清掃を挙げ、一日の始まりに舌表面に付着した老廃物を除去することで心身の健康維持につながると言われています。舌表面の白色の付着物は舌苔(ぜったい)と呼ばれ、その大部分が口腔細菌からなります。舌苔は付着面積が広い上、細菌による硫黄ガス産生の場となるため、しばしば口臭の原因になります。従って舌苔が最も多くなる起床時に舌清掃を行うことで、口臭抑制効果が期待できます。舌清掃は口臭対策としてだけでなく、全身の健康にも好影響をもたら

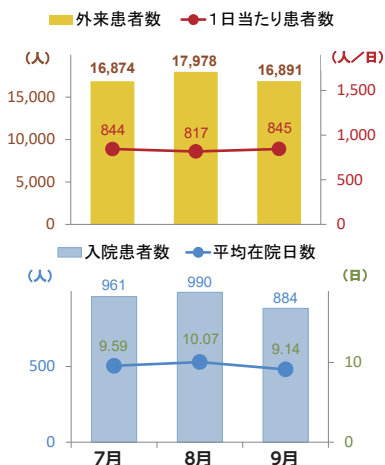
すかもしれません。舌苔を含む口腔細菌は唾液とともに恒常的に飲み込まれていますが、胃酸や小腸での胆汁酸、抗菌ペプチド等によって殺菌され、下部消化管までほとんど到達しないか、到達したとしても腸内フローラが口腔細菌の定着を阻止すると考えられていました。ところが最新の研究で、遺伝的素因、腸粘膜の炎症、胃酸抑制剤の服用等でこうしたバリア機能が破綻し、口腔細菌が唾液を運び屋として文字通り落ちていき、腸管へ移行・定着する可能性が指摘されています。特に、歯周病菌の移行・定着は腸内フローラを変化させ、肥満や糖尿病、炎症性腸疾患等の発症や進行につながるのではないかと

と考えられており、現在世界中で研究が進められています。予防歯科では、口腔内を清潔に保つことが病気になりにくい心身を作る土台になると考え、日々診療・研究にあたっています。ご興味のある方は、是非一度ご相談下さい。

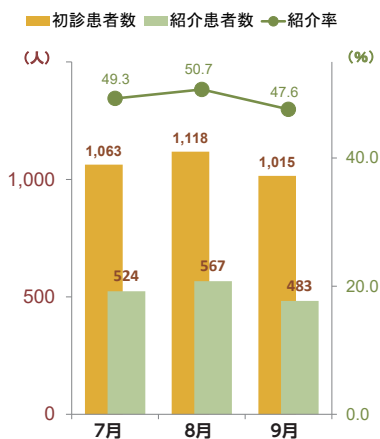


7月～9月患者数等統計

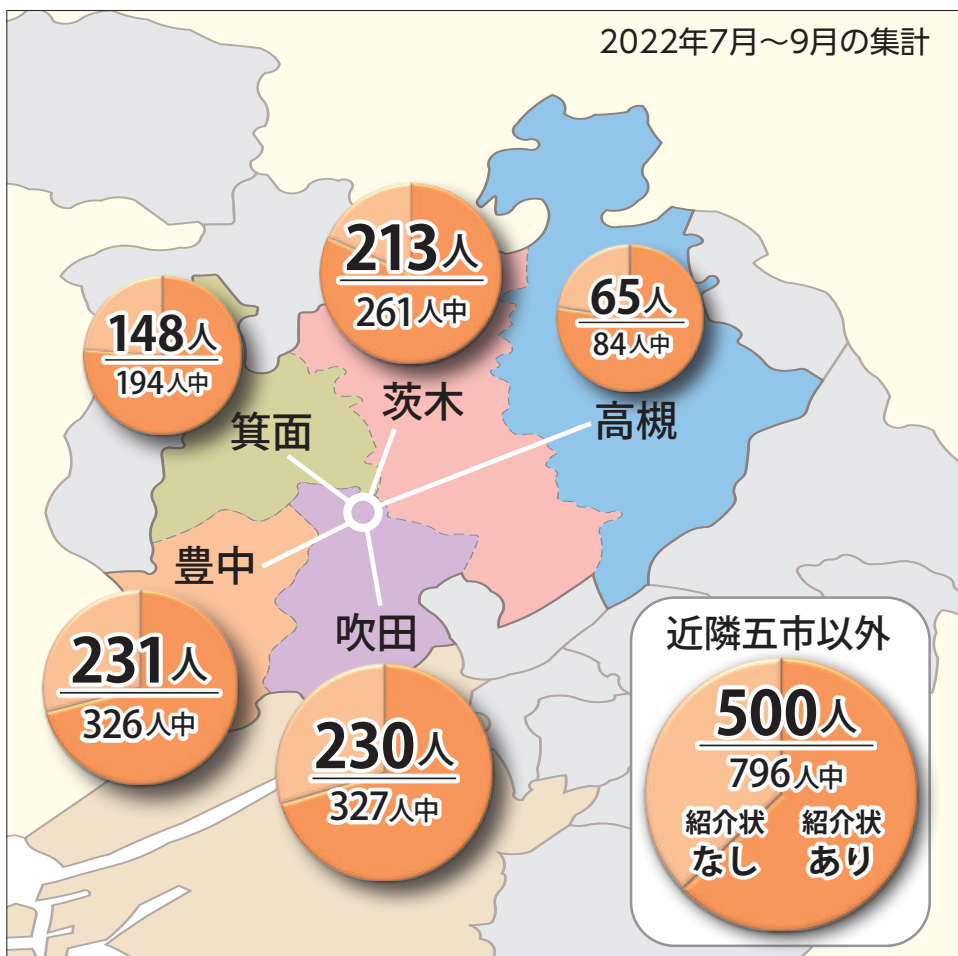
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率



近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）
【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかりますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえ、お越しく下さい。

入院患者様へのご面会は新型コロナウイルス感染対策の観点から当分の間、原則禁止とさせていただきます。

病院へのアクセス

https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車で越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しく下さい。

看護師・歯科衛生士募集中！

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで

